



中部支部ニュース

2016.12.1 No.167

〒470-1201 豊田市豊栄町2丁目88番地
トヨタ自動車株式会社 豊栄オフィス 4F
(公社) 自動車技術会中部支部
TEL (0565)42-3844 FAX (0565)42-3846
URL : <http://www.jsae.net/chubu/>

今後の行事予定(★印は本号に掲載)

第5回技術講習会	12月 9日(金)	名古屋銀行協会
★ 第3回技術交流会	2月10日(金)	刈谷市産業振興センター
★ 第6回技術講習会 見学会	2月24日(金)	名古屋銀行協会
	1月20日(金)	ヤマトホールディングス(株) 羽田クロノゲート
	★ 2月 3日(金)	三菱化学(株) 四日市事業所
	★ 3月10日(金)	横浜ゴム(株) 新城工場

事務局だより

中部支部イベント参加受付システム稼働開始のご案内(12月10日～)

本号掲載行事より、「申込専用WEBサイト」による申込を稼働いたします。

インターネットを利用する方は、中部支部HPの「行事」をクリックして、各行事詳細案内の申込み方法に掲載しています「申込専用WEBサイト」より必要事項を入力の上、お申込みください。お申込みが完了すると自動配信メールが送信されます。インターネットエクスプローラーなどのウェブブラウザのバージョンが古いと正常に表示されない場合があります。

なお、新行事の中部支部HPへの掲載は偶数月の10日前後です。

2017年度 自動車技術会

中部支部 通常総会併催 研究発表会 発表者募集

2017年度 中部支部通常総会併催で実施する研究発表会の発表者を募集します。
日頃の研究成果を発表いただきたくふるってご応募下さい。

- 開催日 : 2017年6月1日(木)【中部支部通常総会当日】
- 場所 : 名古屋国際会議場(名古屋市熱田区熱田西町1番1号)
- 発表内容 : 自動車の研究・開発に関わる幅広い技術についてご発表下さい。
①安全 ②環境 ③操安性 ④パワートレイン ⑤シャーシ・ボデー
⑥エレクトロニクス ⑦生産技術 ⑧要素技術 ⑨フリー
- 発表時間 : 1題の発表時間は20分以内(質疑応答5分を含む)
- 申込方法 : 発表タイトル(仮で可)、発表者氏名、団体名、所属および連絡先住所
(含む TEL・FAX)を中部支部事務局までご連絡ください。
郵送、FAX、e-mail: chubu-2@jsae.or.jp いずれでも構いません。
- 申込締切 : 2017年1月27日(金)
- 原稿提出期限 : 2017年4月28日(金)

* 今回より、発表者(希望者)の方には研究発表会に向けた事前レクチャーを実施します。(5月予定)

第6回 技術講習会(名古屋市)のご案内

2017年2月24日(金)開催

1. テーマ : 『予防安全技術の最新動向』
 予防安全システムを装備した車両の事故発生率が、非装備車に比べかなり低くなっているデータが紹介されるなど、今後、さらに採用の拡大、新たな技術開発が予想される予防安全について、技術の基礎となる、危険の「予知」、「検知」、「行動」の観点で、自動車メーカー、部品メーカー、アセスメントの立場から講演いただく。
2. 日 時 : 2017年 2月24日(金) 13:00~17:00
3. 場 所 : 名古屋銀行協会 5階 大ホール
 名古屋市中区丸の内 2-4-2
 TEL(052)231-7851
4. 募集人員 : 160名
5. 申込締切 : 2017年2月3日(金)
6. 申込方法 : 「支部行事の申込方法」をご参照下さい。
7. 参加費 : 正会員 3,000 円(会員外 6,000 円)
 学生は会員・会員外ともに無料



《アクセス方法》地下鉄
 桜通線「丸の内」4番出口徒歩6分
 鶴舞線「丸の内」1番出口徒歩6分
 名城線「市役所」4番出口徒歩8分

8. 講演内容

時 間	演題と講演要旨	講 師
13:00~13:10	開会挨拶	担当理事 吉岡 秀記
13:10~14:05	自動車アセスメントによる予防安全技術を備えたより安全な自動車等の普及促進 独立行政法人自動車事故対策機構は、国土交通省が実施する自動車アセスメントの実務を担っている。 近年の自動車技術の進展を踏まえて実用化された、予防安全技術を備えた自動車の普及に向けて、ユーザーがより安全な自動車を選択しやすいように、また、選択したいと思っていただけるよう工夫している、評価、及びその結果の広報について紹介する。	独立行政法人 自動車事故対策機構 企画部・自動車アセスメント部 部長 大森 隆弘 氏
14:05~14:15	休 憩	
14:15~15:10	予防安全システムのセンシング技術 近年、自動緊急ブレーキ、車線逸脱警報に代表される予防安全システムが広く普及してきている。これらのシステムを実現するには、様々な走行環境やドライバ状態を認識するセンシング技術がカギを握る。クルマの周りの状況を認識するミリ波レーダ、画像センサに加え、遠方や見通し外の情報を提供する車車間・路車間通信など、予防安全システムを支えるセンシング技術について解説する。	株式会社デンソー 走行安全事業部 走行安全技術企画室 室長 鈴木 知二 氏
15:10~15:20	休 憩	
15:20~16:15	“ぶつからないクルマ？”スバルが生んだアイサイトの秘密 スバルは黎明期から、“技術は人のためにある”の思想に基づき、自ら高い安全性能を目指してきた。脈々と受け継がれる安全思想は、衝突安全性能でトップ評価獲得の常連化、さらには、そもそも“ぶつからない”ことを目指した、スバル独自の運転支援システム“アイサイト”の実現に繋がった。今回は特にアイサイトの27年の開発の歴史とそれを支えたスバルの知能化技術について解説する。	富士重工業株式会社 スバル第一技術本部 車両実験第4部 部長 樋渡 穰 氏
16:15~16:45	講師と聴講者の交流の場(3講師への質疑補足、意見交換の場)	

※第6回技術講習会「テーマ:予防安全技術の最新動向」は、2017年2月10日開催予定の第3回技術交流会「テーマ:クルマを止める技術」と連携して開催します。

第3回 技術交流会のご案内

2017年2月10日(金)開催

1. テーマ :『クルマを止める技術』

自動車の運転では、車間距離の調整や赤信号で停止する場面等で、ドライバがブレーキペダルを踏むことで減速あるいは停止させます。近年は、先行車との衝突を防ぐための自動ブレーキを搭載した車両が多く、メーカーから市販されているとともに、新聞やニュースで取り上げられている自動運転車両では、周辺の交通状況に応じて車両が自ら車線変更や停止させる技術が開発されています。

車両の基本性能である“走る、曲がる、止まる”の中で、止まるという運動はブレーキ～タイヤ～路面の間で力を伝えることで達成されます。今回は、クルマを止める技術に関わっている専門家を招聘し、研究開発の現状、課題、将来展望等について話題を提供頂き、今後の車両技術開発への応用と促進ができるよう、参加者と共に議論する。

2. 日 時 :2017年2月10日(金) 13:00～18:20

3. 場 所 :刈谷市産業振興センター 6階604会議室
愛知県刈谷市相生町1-1-6

4. 募集人員 :40名程度

5. 申込締切 :2017年1月27日(金)

6. 申込方法 :「支部行事の申込方法」をご参照下さい。

7. 参加費用 :正会員4,000円(会員外7,000円)
学生は会員・会員外ともに1,000円

8. その他 :車でのご来場は極力ご遠慮下さい。車でお越しになる方は、隣接する相生駐車場をご利用頂き駐車券を会場へお持ち下さい。



JR 東海道線・名鉄三河線 刈谷駅＜北口＞徒歩 2分

9. 内 容 :

時間	構成	講演テーマ・概要	講師
13:05～ 13:55	第1部: 講演と 討論	①制動性能におけるブレーキシステム構築 ▽ドライバの踏力を液圧に変換して4輪へ伝達し、摩擦力を利用することで制動力を発生するシステムと制動停止距離短縮技術を紹介	株式会社アドヴィックス システム技術部 グループリーダー 小池 康広 氏
13:55～ 14:45		②制動性能におけるタイヤの役割 ▽制動時にタイヤが発生する前後力について、スリップ率との関係、各路面の違いやそれに対応するタイヤの開発、最近のトレンド等を紹介	住友ゴム工業株式会社 第三実験部 部長 和田 靖男 氏
14:55～ 15:45		③ブレーキ制御技術の基本と進化 ▽車両の重要な基本性能の一つである制動回避性能を支えるブレーキ制御技術について、ABS を始めとしたブレーキ制御の基本とその進化を、最近の技術動向も踏まえて紹介	トヨタ自動車株式会社 シャシー制御開発部 グループ長 福田 光雄 氏
15:45～ 16:50		全体討議 (出席者全員)	
17:00～ 18:20	第2部:意見交換会 (出席者全員) 飲物・軽食つき。		

協賛・共催事業

自動車技術会中部支部では他学会の各種の行事に協賛しております。自動車技術会会員であれば、主催団体会員と同条件で参加できます。

(公社)日本設計工学会東海支部

名称/内容	日時	集合場所	定員	参加費
第83回見学会 カヤバシステム マシナリー株式会社 三重工場 (URL: http://www.kyb-ksm.co.jp/)	2017年1月20日(金) 13:15～16:00 (13:00集合、時間厳守)	カヤバシステム マシナリー株式会社 三重工場 201A会議室 ※行き先の詳細は守衛室にて 問い合わせ下さい。	30名 (同乗者 お断り)	1,000円(当日支払) 学生:無料
各種試験機の見学と免震ダンパー製造ラインの見学				
【お申込方法】「カヤバシステム マシナリー見学会」と表記し、氏名、勤務先、所属、会員資格(無い場合は会員外)、連絡先、 自家用車利用の有無(有の場合はナンバープレート)について明記の上、下記へE-mailにてお申し込み下さい。 【お申込期日】2016年12月15日(木) 注意:先着順。定員を超えた場合には会員および協賛学会の会員を優先します。 なお、見学先の了承を得た後に参加許可通知を送ります。通知が開催日間際になることもありますのでご承知下さい。 【お問合せ先】〒514-8507 三重県津市栗原町1577 三重大学 工学研究科 川上博士(第83回見学会担当) E-mail: kawakami@mach.mie-u.ac.jp TEL: 059-231-9474				

(公社)日本表面科学会

名称/内容	日時	会場	定員	参加費
第89回表面科学研究会 平成28年度中部表面科学シンポジウム「将来の自動車に向けた表面科学」	2017年1月28日(土) 13:00～17:20	名古屋工業大学 2号館0221講義室 (名古屋市中区御器所町)	100名	当日会場にて受付 会員:2,000円 学生:1,000円 一般:4,000円 閉会後の懇親会 参加費:4,000円
今後ますます発展していく環境・エネルギー関連技術の中から、自動車に向けた太陽電池技術、二次電池技術、パワーデバイス技術、および化学センサー技術を表面科学の視点も関連して、第一線で活躍中の講師の方々に講演いただきます。				
【お申込方法】WEBサイト(http://www.sssj.org/)から直接申し込むか、e-mail(shomu@sss.org)、またはFAXにて、次の項目をご記入のうえ日本表面科学会までお申込ください。 (1)氏名(ふりがな) (2)所属 (3)連絡先(郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス) (4)参加区分(会員※後援学会員を含む、学生、一般)				
【お申込期日】2017年1月14日(土)				
【お問合せ先】〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12 愛知学院大学 城貞治 E-mail: sadaharu@dpc.agu.ac.jp 公益社団法人日本表面科学会 〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-13 本郷コーポレーション402 TEL: 03-3812-0266 FAX: 03-3812-2897 E-mail: shomu@sss.org URL: http://www.sssj.org				

見学会のご案内

資格	一般	学生
会 員	2,000円	無料
会員外	5,000円	無料

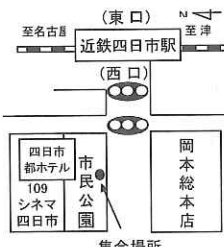
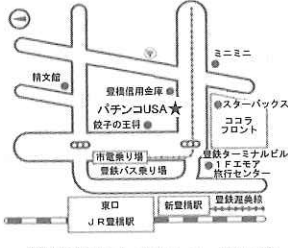
参加費：見学会当日、現金にて徴収致します（領収書を発行します）。
 ※賛助会員企業の場合でも、正会員でない方は会員外となります。
 キャンセル：やむを得ず欠席される場合は必ず事前に中部支部事務局までご連絡願います。
 連絡先(0565)42-3844
 見学会当日連絡先 携帯:080-2618-2950
 無断欠席の場合は後日キャンセル料（参加費相当額）を請求させていただきます。
 ※事前連絡なく開催日当日に代理の方がお越し頂いてもご参加頂けません。

★見学会参加の留意点★

< 禁止事項 >

- ①工場内の撮影・録音
- ②ハイヒール・サンダル・草履

★最終確認：開催日2週間前頃に最終出欠確認のご案内メールを参加予定者へ配信しています。
 最終確認メールが届かない場合は当事務局へお問合せください。

見学日	見学先	主な見学内容	集合場所	スケジュール
2016-11回 2月3日(金) 定員:32名 ★お申込締切日 1月13日(金)	三菱化学(株) 四日市事業所 三重県四日市市 東邦町1番地 ★ 駐車場なし	中規模石油化学と 機能化学製品の製造工場 ①幅広い製品と 高い技術力を紹介 「KAITEKI SQUARE Yokkaichi」 ②研究施設「カスタマーラボ」 ③場内バスツアー ※注:同業他社の方のお申込はご遠慮ください。		12:55 近鉄四日市駅 市民公園集合 受付、バス出発 13:30 挨拶・工場概要説明 14:00 工場見学 16:00 技術講演・質疑応答 「化学が創る「KAITEKI」なくるま」 16:30 質疑応答 16:45 バス移動 17:10 近鉄四日市駅 解散
2016-12回 3月10日(金) 定員:40名 ★お申込締切日 2月3日(金) 締切日が通常より 早くなっておりますので、 ご注意ください。	横浜ゴム(株) 新城工場 愛知県新城市 野田字古屋敷1番地 ★ 駐車場なし	乗用車用タイヤの生産工程 ①各部材の準備工程 (混合/圧延/押出し) ②製造工程(成形/加硫) ③仕上げ・検査工程 (均一性の測定/外観検査) ※注:同業他社の方のお申込はご遠慮ください。 (ブリヂストン、住友ゴム、東洋ゴム、日本ミシュラン) ※注:ネクタイ着用及び携帯電話使用を禁止。		12:25 JR豊橋駅東口集合・受付 12:30 バス出発 13:30 挨拶・工場概要説明 14:10 注意事項説明、安全宣言 14:15 工場見学、質疑応答、休憩 15:45 技術講演 「乗用車向け低燃費タイヤの ラベリング制度と対応技術について」 16:30 質疑応答、閉会挨拶 16:50 バス移動 17:50 JR豊橋駅東口解散

【支部行事参加申込み方法】

- インターネットを利用する方は、中部支部HPの「行事」に掲載しています「申込み専用WEBサイト」よりお申込みください。
 ・お問合せ窓口: chubu-sys@sae.or.jp ・推奨動作環境: Internet Explorer11、Google Chrome
 ・対象行事: 第6回技術講習会、第3回技術交流会、第11回見学会、第12回見学会
- インターネットを利用しない方は、下記【中部支部行事申込書】に必要事項を記入し、グループ扱い会社の方は各社グループ事務担当者へ、個人会員の方は直接中部支部事務局へご提出ください。
 ・FAX: (0565)42-3846 ・e-mail: chubu-2@sae.or.jp
 ・郵送先: 〒470-1201 愛知県豊田市豊栄町2丁目88番地 トヨタ自動車(株) 豊栄オフィス4F (公社)自動車技術会中部支部 宛
- 参加費振込み先 ... 三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店(支店コード014)(普)1368612 (公社)自動車技術会中部支部口(シャ)ジドウシャキョウカイチュウブシブグチ
- 留意点
 ・各行事については、参加申込みが定員超過により申込締切日を繰り上げさせて頂く場合があります。その場合は中部支部HPにてご案内いたします。
 ・また、定員超過の場合「会員優先」の参加とさせて頂きまのでご了承ください。
 ・中部支部の各行事においては、参加券・聴講券はございません。定員超過その他の理由で参加をご遠慮頂く方が出る場合にはその旨をご連絡いたしますが参加頂ける方にはご連絡いたしませんので当日会場受付までお越しください。
 ・見学会と車の挙動体験会につきましては、開催日2週間前頃に最終出欠確認のご案内メールを参加予定者へ配信しています。
 ・最終確認メールが届かない場合は当事務局へお問合せください。
 ・参加申込み後にやむを得ず参加できなくなった場合は、必ず中部支部事務局までご連絡をお願いします。
 連絡先(0565)42-3844 各種行事当日連絡先:080-2618-2950
 (尚、各種行事の無断欠席は後日【参加費相当額を請求】させて頂きまのでご注意ください)
 ・会員証をご持参ください。(確認をさせて頂く場合があります)

【中部支部行事申込書】 ※上記②に該当する方はこちらをご利用ください。

行事名		行事開催日	月 日 ()
(※グループ協会会員様はグループ事務担当者へお申込ください)			
申込者	氏名:	会員種類: 正会員 ・ 学生会員 ・ 会員外	
	会社名:	会員番号: () ※必ずご記入ください	
連絡先	電話番号:	部署:	役職:
	E-mail:	FAX番号:	
参加費 支払い方法 注: 見学会は当日 現金のみです	☐ 当日現金(領収書発行) ☐ 銀行振込み(請求書は行事終了後に発行します。事前のご入金は極力ご遠慮ください。) ※ 参加費: 銀行振込みで請求書発行要の場合は請求書宛先を記入ください。 〒 住所 宛先		
見学会申込者 のみ記入	当日の交通手段 ☐ 支部手配のバスを利用 ☐ (駐車場がある場合のみ) 自分で見学先に直行する ※ 駐車場がない見学先の場合は見学先にご自身で直行はできません。支部手配のバスで移動となります。		
備考欄			